



アキラ 藤木大地 Akira:FUJIKI Daichi

新国立劇場オペラ研修所第5期修了。12年国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクール世界大会ファイナリストとなり、ハンス・ガボア賞受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。13年ボローニャ歌劇場『クレリアの勝利』でヨーロッパデビュー。17年ウィーン国立歌劇場に『メデア』ヘロルドでデビュー。新国立劇場20/21シーズン開幕公演『夏の夜の夢』でのオーペロンは絶賛された。洗足学園音楽大学客員教授



エリカ 三宅理恵 Erika:MIYAKE Rie

東京音楽大学卒業、同大学院修了。これまでに小澤征爾音楽塾『カルメン』フラスキータ、日生劇場『フィデリオ』マルチェリーネ、NHK音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、藤倉大オペラ処女作品『ソラリス』ハリ（演奏会形式）などに出演。新国立劇場では『パルジファル』花の乙女、『夜鳴きうぐいす』タイトルロールなどに出演している。21/22シーズン『魔笛』パパゲーナに出演予定。二期会会員。



ジョージ 成田博之 George:NARITA Hiroyuki

国立音楽大学声楽科卒業、同大学大学院オペラコース修了。オペラ研修所第10期修了。03年ミトロプーロス国際声楽コンクール（アテネ）最高位など受賞多数。新国立劇場では『アンドレア・シェニエ』ルーシェ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『沈黙』ヴェリニャーノ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ、『エウゲニ・オネーギン』ザレツキー、『椿姫』ドゥフォーール男爵などに出演している。二期会会員。



ルイジ/異端1 小泉詠子 Luisi/Nobody1:KOIZUMI Eiko

東京藝術大学大学院修士課程、博士課程修了、博士号取得。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。文化庁派遣在外研修員としてイタリアに留学。サイトウ・キネン・フェスティバル松本及び日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル、東京二期会『ファウストの劫罰』マルグリート、小澤征爾音楽塾特別演奏会『蝶々夫人』スズキなどに出演。新国立劇場では『イエヌーフア』パレナなどに出演。二期会会員。



異端2 込山由貴子 Nobody2:KOMIYAMA Yukiko

武蔵野音楽大学首席卒業、同大学院修了。第7回チェコ音楽コンクール2009第2位。第28回日本ドイツ歌曲コンクール最高位及び富士薬品賞受賞。これまでに『フィガロの結婚』スザンナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『愛の妙薬』アディーナ、『椿姫』ヴィオレッタなどを演じる。新国立劇場合唱団メンバー。



異端3 北村典子 Nobody3:KITAMURA Noriko

桐朋学園大学卒業。同大学研究科修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。日本声楽コンクール第3位。二期会『魔笛』『パルジファル』、東京オペラプロデュース『復活』、文化庁育成公演『ボッペアの戴冠』、新国立劇場オペラ研修所『イオランタ』（賛助出演）等に出演。また、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』などでアルトソロを務める。桐朋学園大学非常勤講師。新国立劇場合唱団メンバー。

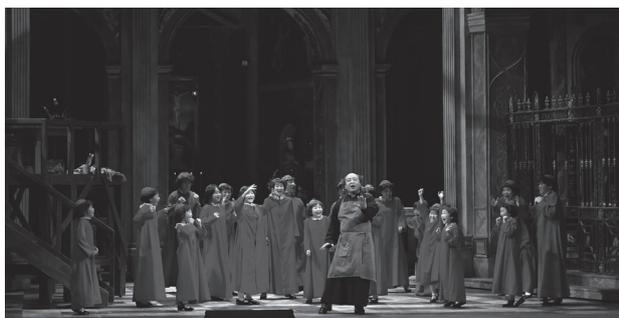


異端4 上野裕之 Nobody4:UENO Hiroyuki

昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。昭和音楽大学オペラ『夢遊病の娘』アレッシオ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『ピーア・デ・トロメイ』ランベルト、『ファルスタッフ』フォード、『フィガロの結婚』バルトロに出演。17年藤原歌劇団『セビリャの理髪師』ドン・バジリオ、18年『ラ・チェネレントラ』アリドーロ、東京フィルハーモニー交響楽団『パール・ギュント』仲介人として出演。新国立劇場では『椿姫』フローラの召使いに出演。藤原歌劇団団員。新国立劇場合唱団メンバー。



異端5（ヴァイオリンソロ） 長野礼奈 Nobody5 (Violin Solo):NAGANO Rena



世田谷ジュニア合唱団
Setagaya Junior Chorus

掛江みどりによって1992年7月に創立。以来、定期演奏会をはじめオペラ、コンサート、レコーディング等、幅広く活動。新国立劇場では『トスカ』『オテロ』『夕鶴』『沈黙』『夜叉ヶ池』『死の都』などの主要なオペラ公演に出演を重ねている。
五十嵐詩帆／内 珠央／大下季愛来／大田美南／大西乃理子／小澤聖亜／小田部胤織／笠井麻里／春日歌乃／加山千愛／小林愛季／佐久間萌生／佐々木あさひ／椎木里奈／志賀智咲登／柴田理子／柴山佳音／園田彩乃／高島久怜央／高橋 凜／高宮早紀／武田真輝／田邊和華／辻本真悠子／照原あかり／萩原埜乃／平石吏玖／平澤佳穂／堀内 南／前澤瑠里 指導助手：宮原祥子



ホワイトハンドコーラス NIPPON
The White Hands Chorus NIPPON

聴覚障害、視覚障害の子どもたちを中心に、障害の有無に関わらず多様な子どもが参加。声の合唱に合わせて、手話をベースに歌詞の世界観を白い手袋で表現する「手歌」が一体となっている。2020年より東京と京都でオンラインで練習を重ねてきた。声隊 青木六花／浅井美桜／池田真愛／岸 いろは／久保田光一／小林愛佳／小林秀徳／佐城真希／瀧村希和／友重真生／友重心菜／森 加奈／吉野あかり／渡辺桐子 サイン隊 秋山美幸／新井ひかる／石川金太郎／石川めい／内田美優／信太優甫／信太美紗生／東海林秀佑／戸村めぐみ／伴野祐希／西村 潤／本間智恵美／奈苗／松澤夏鈴／モンキー高野／山崎夕彩子 スタッフ：千葉直美、中村友美、田中一結、田頭真理子 手話通訳：水野冬馬、高島由美子、田家佳子



新国立劇場合唱団
New National Theatre Chorus

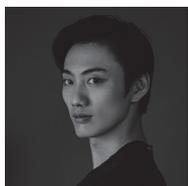
ソプラノ 岩本麻里／岩本留美／龍 三佳代／熊坂真里／吉田桃子
アルト 石澤希美／前田祐佳／吉田理絵／山下千夏／吉成文乃
テノール 高嶋康晴／二階谷洋介／半田 爾／真野郁夫／黒田大介
バス 佐藤勝司／千葉裕一／照屋 睦／徳吉博之／木谷圭嗣



東京フィルハーモニー交響楽団
Tokyo Philharmonic Orchestra

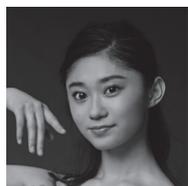
1911年創立。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・パッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、放送演奏や教育プログラムなどで高水準の演奏活動を展開。海外公演でも高い評価を得る。Bunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。公式ウェブサイト (<https://www.tpo.or.jp/>) / facebook (/TokyoPhilharmonic/) / Twitter (@tpo1911) / Instagram (tokyophilharmonicorchestra)

新国立劇場バレエ団
The National Ballet of Japan



プリンシパル
渡邊峻郁

WATANABE Takafumi



ファースト・ソリスト
木村優里

KIMURA Yuri



ソリスト
渡辺与布

WATANABE Atau



アーティスト
中島瑞生

NAKAJIMA Mizuki



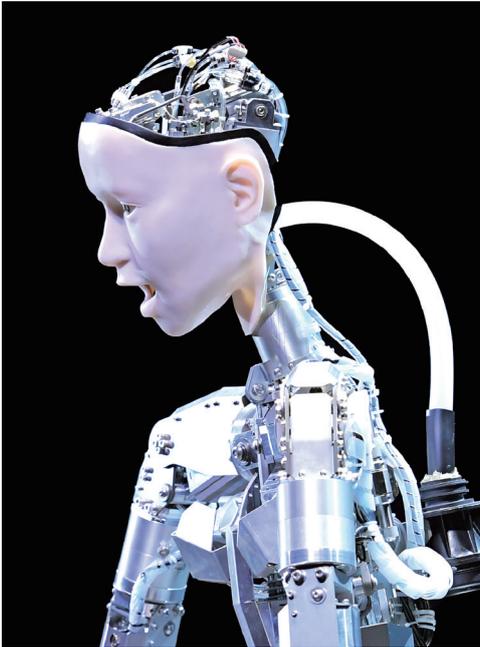
アーティスト
渡邊拓朗

WATANABE Takuro

助演

異端 5 (黙役)：松林けい子

柏木銀次／鈴木暢彬／浜野基彦／前田竜治／松田祐司／川越美結／木村寿美／望月さほ／森 香菜子



「オルタ3」は、2019年2月にコミュニケーション創出カンパニーであるミクシィと、世界的なアンドロイド研究のパイオニアである大阪大学石黒研究室、人工生命研究のパイオニアである東京大学池上研究室、本プロジェクトの実証実験の場を提供するワーナーミュージック・ジャパンの4社共同研究プロジェクトのもと、人間と人工生命体とのコミュニケーションの可能性を探るために開発されたアンドロイドです。「オルタ3」は機械が露出したむき出しの体、性別や年齢を感じさせない顔の特徴としており、人の想像力を喚起し、これまでにない生命性を感じさせることを目指し開発されました。本プロジェクトでは、外界との相互作用によりロボットが生命感を自ら獲得することができるかどうか、また、これを通じて、生命とは何かを追求し続けています。「オルタ3」プロジェクトメンバーには、音楽家 渋谷慶一郎氏をはじめとする、世界で活躍する音楽家、アーティストなどが集結しています。4社共同研究から始まったプロジェクトは、東京大学と国立音楽大学との共同研究にも発展するなど、テクノロジーによる新しい芸術の可能性を切り開くことで、サイエンスの未来を創出し続けています。

「オルタ」シリーズ共同研究：
石黒浩、小川浩平、池上高志、土井樹

オルタ3ソフトウェア設計・開発：
今井慎太郎、池上高志

オルタ3シミュレーター開発：株式会社ミクシィ

オルタ3提供：株式会社ミクシィ

統括プロデューサー：木村弘毅（株式会社ミクシィ）

特別協力：
東京大学、大阪大学、国立音楽大学、株式会社ミクシィ、
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン、
株式会社オルタナティブ・マシン

Credit:
Alter Series Hardware and Software Architecture Design and
Programming:
Hiroshi Ishiguro, Kohei Ogawa, Takashi Ikegami, Itsuki Doi

Alter 3 Software Architecture Design and Programming:
Shintaro Imai, Takashi Ikegami

Alter 3 Simulator Development: mixi, Inc.

Alter 3 Presented by: mixi, Inc.

Executive Producer: Koki Kimura (mixi, Inc.)

Special Thanks:
The University of Tokyo, Osaka University,
Kunitachi College of Music, mixi, Inc.,
Warner Music Japan Inc., ALTERNATIVE MACHINE Inc.

Alter 3, a combination of artificial life and android, was created to probe the possibilities of communication with humans. The bare body exposing its mechanism and the face that does not reflect gender or age, stimulates the imagination and makes one feel a new type of life. World renowned artificial life researchers of Osaka University and University of Tokyo collaborated and further promote this project. Their challenge is to determine whether robots can achieve by themselves a sense of being alive through interaction with the outside world, as well as to answer the compelling question, "what is life".